

Broaden your horizons 66 ～さあ、視野を広げて!～

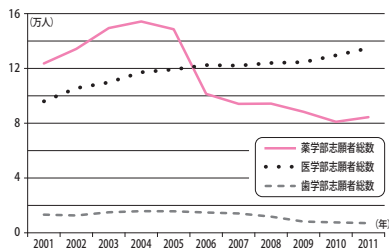
こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

田中真紀子文部科学大臣が大学設置不認可発言で世間をお騒がせしましたが、薬学部ですでにその問題が起こっています。以前のコラムでご紹介させていただいた、35～65と大きな幅ができた大学別薬学部の偏差値が反響を呼びました。今回は、薬学教育を取り巻く環境第2弾として、「薬学部志望者数」を医学部と歯学部と比較してみました。

2012年の18歳人口は120万人、進学者数が61万人ですから、進学率は50%です。このうち、薬学部志望者数：91,286人(募集人数 12,856人)、医学部志望者数：94,252人(募集人数 8,846人)、歯学部志望者数：8,180人(募集人数 2,482人)、看護系学部志望者数：61,548人(募集人数 7,767人)となっています。

薬学部は6年制になったときにガクンと希望者数が減りました。昨年度が底で、今年には志願者数が少し回復しました。しかし、私立薬学部57大学中19大学が定員割れですから、薬学部を希望すればどこかの大学には入れます。医学部は志願者数が常に増加傾向ですね。また、歯学部の不人気は耳にしておりましたが、数字で見るとよりリアルです。

＜薬・医・歯学部の志願者数の推移＞



次に、人口1万人当たり資格者数は、△薬剤師数：日本20人、ドイツ12人、アメリカ9人、シンガポール3人、△医師数：日本22人、ドイツ37人、アメリカ24人、スウェーデン38人、△看護師数：日本101人、ドイツ113人、アメリカ110人、スウェーデン110人となっています。

国際的に比較すると、薬剤師が断然多いのです。でも、職業認知レベルはそこまで高くありません。まだまだ頑張りがいがありますね！ 薬剤師初の厚生労働大臣(三井辨雄氏)も誕生したことで、高校生がもっと薬学部に行きたいと思ってくれるよう、頑張っていきましょう！

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子